

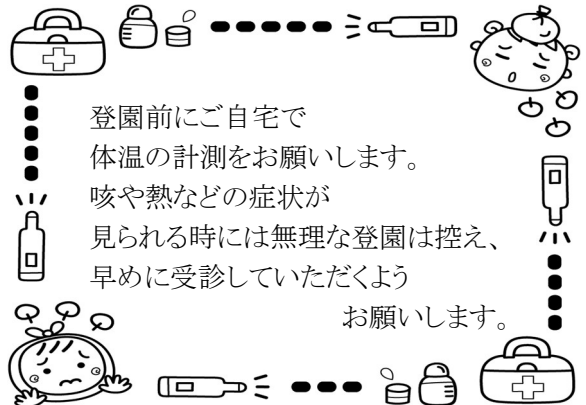
ほけんだより 6月号

2021年6月2日
社会福祉法人尚徳福祉会
保土ヶ谷保育園
看護師

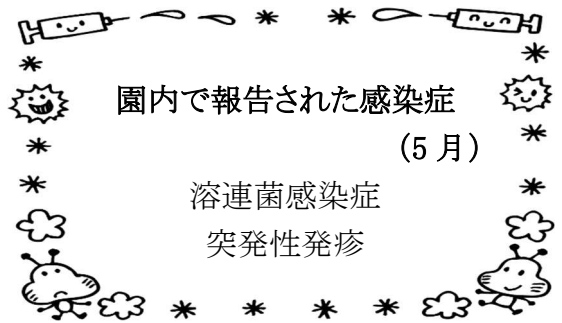
梅雨の季節がやってきました。湿度が高くなり、この時期は急に暑くなる日があったり、肌寒い日があったりと体調を崩しがちです。衣服の調節に気を配るようにし、食事や睡眠をしっかりととり、元気に過ごしていきましょう。

どろんこ遊び・水遊びの前にチェック！

- ・爪は伸びていませんか？
- ・皮膚に異常はありませんか？
- ・熱はありませんか？
(熱が引いてから2日以上経っていますか？)
- ・咳や鼻水はでていませんか？
- ・目やに、充血はありませんか？
- ・食事や睡眠はしっかりとれていますか？



登園前にご自宅で
体温の計測をお願いします。
咳や熱などの症状が
見られる時には無理な登園は控え、
早めに受診していただくよう
お願いします。



園内で報告された感染症

(5月)

溶連菌感染症

突発性発疹

プール熱

夏かぜの一種で、感染力が強く、唾液や鼻水、目やに、便などが感染源となりプールなどの水を介しても感染するといわれています。

39℃以上の高熱、のどの痛み、体のだるさ、目の充血といった症状のほかに頭痛、腹痛、下痢などの症状がでることもあります。

感染した場合、保育園等はお休みすることが義務付けられています。

熱や目の充血などの症状が治まり、2日以上経過すると登園することができます。登園の際は、医師が記入する意見書の提出が必要です。

便にウイルスが残るので、症状が治まっても2週間位はプールなどは控えた方がよいとされています。

